

エネルギーイノベーション総合展

ENEX 2025
第49回地球環境とエネルギーの調和展

DER Microgrid Japan 2025



RENEWABLE ENERGY 2025
第19回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム

Offshore Tech Japan 2025 海洋産業技術展 2025

InterAqua 2025

2025開催報告書 速報版

主催

一般財団法人省エネルギーセンター/再生可能エネルギー協議会
株式会社JTBコミュニケーションデザイン/産経新聞社

01.開催テーマ

カーボンニュートラル2050年目標達成へ

省エネ・再エネ・省資源のすべてを5つの展示会でカバーする エネルギーイノベーション総合展

わが国全体として2050年に達成しなければならないカーボンニュートラルの取り組みには、既に存在する技術とともに新たなイノベーションが不可欠です。今後求められるGX、DXによるエネルギー利用の最適化、省エネ活動のさらなる推進、再生可能エネルギーの導入、水処理・マネジメント技術の活用、さらには再生可能エネルギーをはじめとする海洋資源の利活用に関する様々なビジネスマッチングを創出し、持続可能な企業活動や海洋産業の発展、カーボンニュートラルの目標達成を目指す「エネルギーイノベーション総合展」として開催しました。

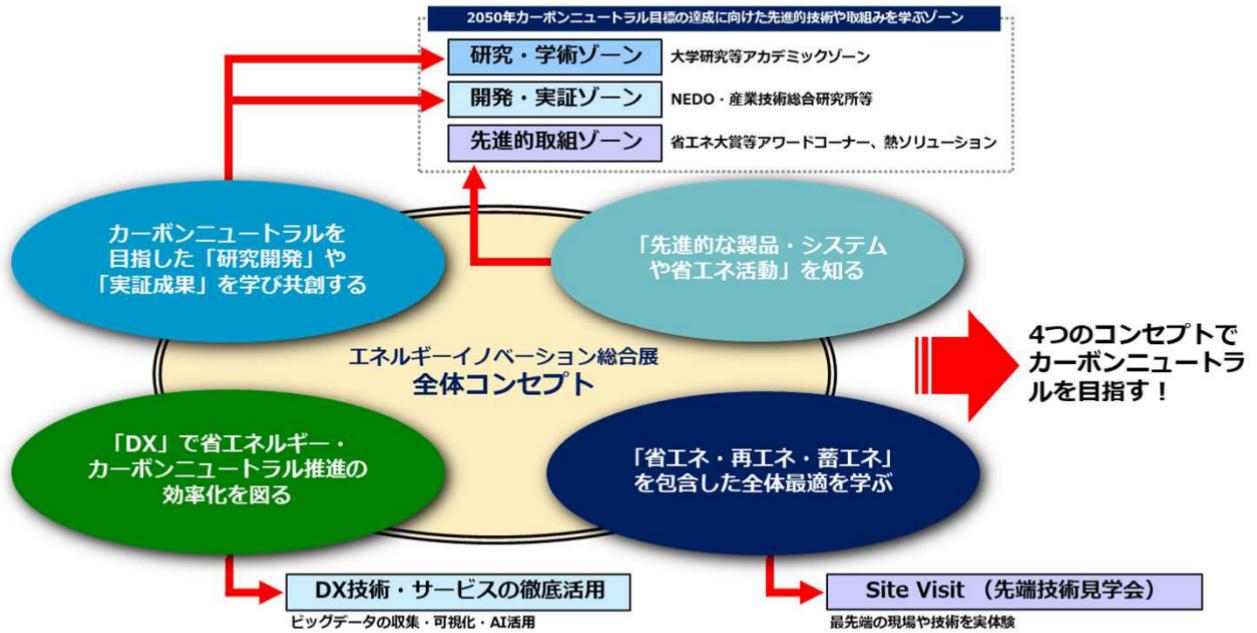
開催期間中は出展者のブース展示をメインに、有識者や専門家による様々なセミナーや講演、先進的取り組み事例の紹介や研究開発の成果発表、さらには施設見学会の実施などを通じ、活発な交流や商談が行われました。

【展示会対象分野】



02.エネルギーイノベーション総合展開催コンセプト/構成展示会

エネルギーイノベーション総合展開催コンセプト



構成展示会



03.開催結果

会期 2025年1月29日（水）～31日（金）10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト東1・2ホール&会議棟

開催規模 エネルギーイノベーション総合展を構成する5展示会合計で、過去最多の463社・団体が出展しました。

出展者数

463
社・団体

小間数

634
小間

参加国数

6
か国
中国、韓国、
台湾、ポーランド、
イタリア、インドネシア

セミナー聴講者数*延べ人数

4,128名

Site Visit参加者数

91
名

来場者数（同時開催展合計）

開催日	天候	来場者数
-----	----	------

1/29（水）	☀	12,396 名
---------	---	-----------------

1/30（木）	☀	14,241 名
---------	---	-----------------

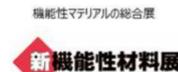
1/31（金）	☀	15,452 名
---------	---	-----------------

3日間合計

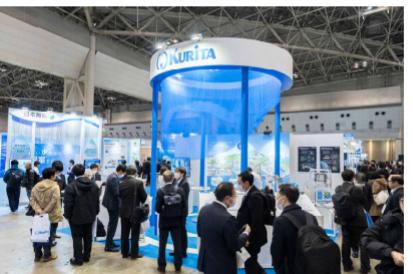
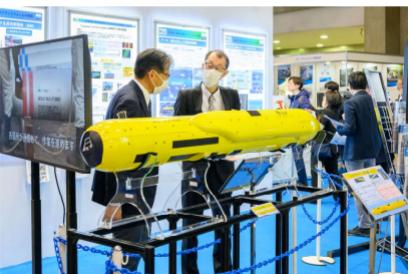
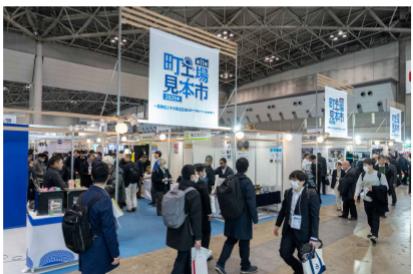
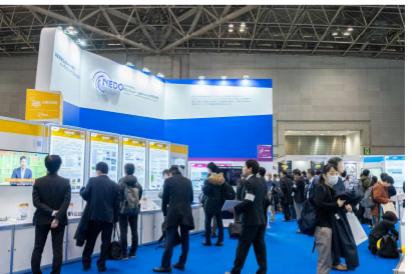
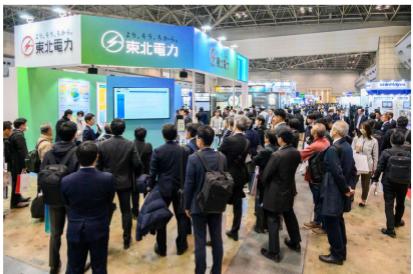
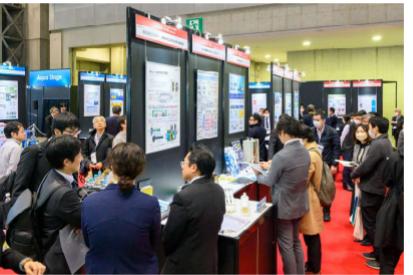
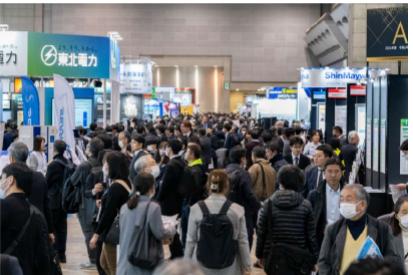
42,089名

同時開催展

水処理ソリューションや、エネルギーの効率化に貢献する、素材から加工、センシングまでを含むマテリアル総合展など、全14展示会を同時開催いたしました。



04.展示会ハイライト



05. フロアレイアウト

InterAqua 2025

ENEX 2025
第49回地盤環境とエネルギーの調和展

DER Microgrid Japan 2025

RENEWABLE ENERGY 2025
再生可能エネルギー世界展覧会

Offshore Tech Japan 2025
海洋開発技術展



06.主催者企画展示：アワードコーナー/熱ソリューション

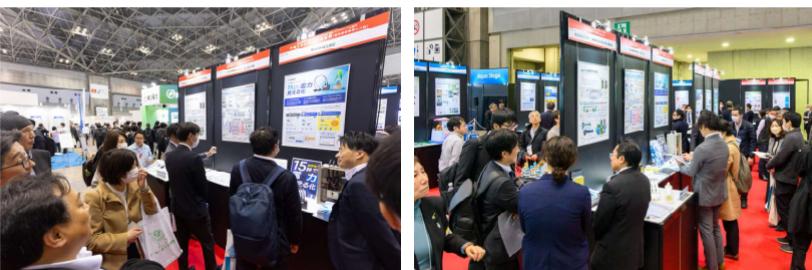
アワードコーナー

最新機器、製品、ビジネスモデル、事例に触れる

ENEX展示会場内「アワードコーナー」では、2024年度（令和6年度）省エネ大賞、令和6年度新エネ大賞、コージェネ大賞2024、令和6年度デマンドサイドマネジメント表彰の受賞者を一挙展示しました。

受賞者展示

- ・2024年度（令和6年度）省エネ大賞
主催：一般財団法人省エネルギーセンター
- ・令和6年度新エネ大賞
主催：一般財団法人新エネルギー財団
- ・コージェネ大賞2024
主催：一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
(通称財団名：コージェネ財団)
- ・令和6年度デマンドサイドマネジメント表彰
主催：一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター



熱ソリューション

各分野に顕在・潜在する熱需要、課題への提案

ENEXでは、産業・民生部門で年間計2兆kWhもの未利用熱が廃熱として環境中に排出されているといわれています。化石燃料使用量とCO₂排出量の削減策として、産業分野での未利用熱、建物・住宅の断熱・遮熱、エネルギーの面的利用や蓄熱など、熱を高効率に利用するソリューションを紹介しました。

熱ソリューション出展者一覧（順不同）

- ・川重冷熱工業
- ・ニチアス
- ・地中熱利用促進協会
- ・ヨシタケ
- ・荏原冷熱システム/荏原製作所
- ・SG化学
- ・ebm-papst Japan
- ・SDAT
- ・最上インクス
- ・MDI
- ・Jiangsu Yuanzhuo Equipment Manufacturing
- ・JST未来社会創造事業
省エネ発電およびセンサ用独立電源として活用可能な革新的熱電変換技術
- ・中部電力ミライズ
- ・九電工
- ・ヤンマーエネルギーシステム
- ・ゼネラルヒートポンプ工業

07.省エネ・脱炭素支援コーナー/エネルギーハーベスティングパビリオン

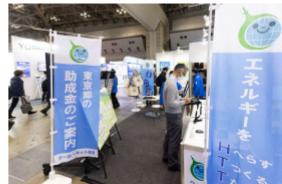
省エネ・脱炭素支援コーナー

2050年に向け「カーボンニュートラル」を実現するための補助金や支援策が一堂に

2050年に向け「カーボンニュートラル」を実現することが最大の課題となりつつあり、徹底した省エネを進めながら、現在エネルギー需給の大部分を占める化石燃料を再エネ等カーボンフリー・エネルギーへ展開していくことが不可欠となります。特に、近年のエネルギー価格の高騰、省エネ法施行により、新エネ・再エネ利用、DRへの対応等、新たな省エネ・脱炭素技術やシステムへの関心が高まっていますが、導入には、資金・技術面での課題があります。ENEXでは、補助金や支援策を提供する団体、機関のブースを同一エリアに配置し、情報収集・各種相談ができるコーナーを実施しました。

出展者

- ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会
- 環境エネルギー事業協会
- 環境共創イニシアチブ
- 環境省
- 省エネルギーセンター
- 東京都環境公社



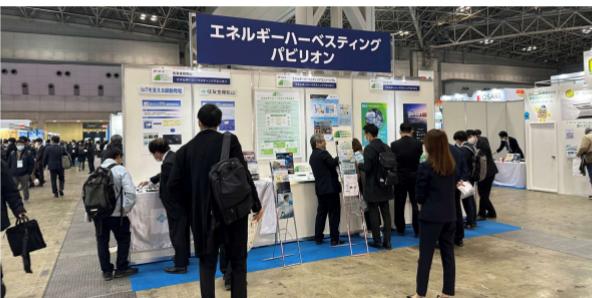
エネルギーハーベスティングパビリオン

環境発電技術の最先端に触れ、コラボレーションを加速！

私たちの身の周りには、さまざまな形態の未利用エネルギーが存在します。そのようなエネルギーを収穫し、 μW ～W程度の電気エネルギーに変換する技術が、エネルギーハーベスティングです。IoTやトリリオンセンサーの実現に必須の要素技術として、本パビリオンでは、エネルギー業界やデバイスマーケター、大学、エンドユーザーなどの皆様とオープンイノベーションを加速する機会としてENEX展に特設パビリオンを展開しました。

出展者

- エネルギーハーベスティングコンソーシアム
- 住友金属鉱山
- 物質・材料研究機構
- リンテック
- モッタナイ・エナジー



08.主催者企画展示：アカデミックゾーン/SDGsゾーン

アカデミックゾーン

産官学の連携でGXの道筋を拓く

GX（グリーントランسفォーメーション）を達成するには、産学官の密接な連携が不可欠です。アカデミックゾーンではマルチスケールのシリコン材料開発、アンモニアからの水素分離・精製用メンブレンリアクタなど、大学研究室や学術団体のエネルギー分野の研究成果が発表されました。

出展者

- 名古屋大学 熱化学プロセス研究室
- 名古屋大学 宇佐美・黒川・伊藤・勝部研究室
- 神奈川工科大学 板子研究室
- 日本太陽光発電学会
- 東京理科大学 総合研究院 再生可能エネルギー技術研究部門
- 信州大学 飯尾研究室（流体エネルギーシステム研究室）
- 愛知工業大学 エコ電力研究センター
- 山梨大学
- 日本太陽エネルギー学会



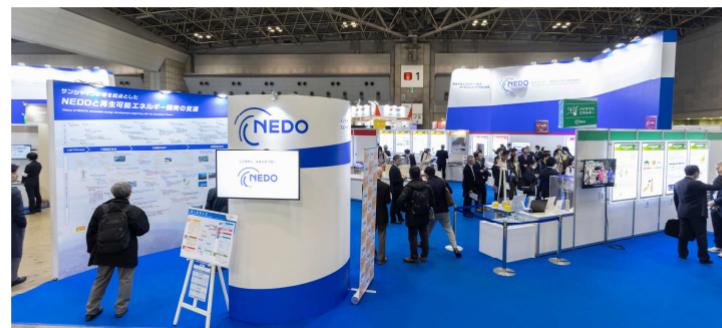
SDGs特設ゾーン

再エネ技術を最大限に発揮させるための取組みを紹介

SDGsやRE100などを推進するためには、再生可能エネルギーの効率的な利活用はもちろん、横断的に活用する技術、システムそしてそれらを運用するインテグレーションやエンジニアリングが求められます。再生可能エネルギー世界展示会のSDGs特設ゾーンでは、再生可能エネルギー技術を最大限に発揮させるための取組みを広く紹介しました。

出展者

- 新エネルギー・産業技術総合開発機構
- 日本ポリエチレンパイプシステム協会
- アクアグリーン・エターナル
- ヴィゴラスワン
- 北九州GX推進コンソーシアム@北九州学術研究都市
- WWS-JAPAN



09.主催者企画展示：産業向け水ソリューション/PFASパビリオン

産業向け水ソリューション

工場・施設における水処理の課題解決へ

InterAquaでは、工場・施設における水処理の課題解決、水資源の回収・再利用、環境リスク対策、省エネ・エネルギーコスト削減に関する技術、製品をご覧いただける「産業向け水処理ソリューション」の企画を実施しました。

出展者

eau&company / クリアライズ / エンバイロ・ビジョン / 宇部マテリアルズ
安原環境テクノロジー / OHR流体工学研究所 / カルテック / 中西商事
稻畑産業 / 富士フィルム和光純薬 / Handok Cleantech / Emec Srl
流機エンジニアリング / マシンソル / 栗田工業 / クレハ / マツボー
長瀬産業 / 大原鉄工所 / アイ・アール・システム / ST. PIONEER
Filtrex Japan / ラヴォックス / ウエーブロジー / ウォーターポイント
ソルベンタム / 安積濾紙 / 小西安 / 東光計器



PFASパビリオン

水質PFAS対策の最新動向をいち早く把握

水質PFAS対策をめぐる喫緊の課題に対し、分解技術、環境修復技術の実用化に向けて、PFAS対策技術コンソーシアムによるパビリオンをInterAquaにて展開。多くの来場者の関心をいただきました。

出展者

PFAS対策技術コンソーシアム / メトロームジャパン / 総合水研究所 / 日吉
富士フィルム和光純薬 / ルミライト・ジャパン / 総合水研究所
室町ケミカル / クレハ / 三重県環境保全事業団



10.併催セミナー

有識者や専門家による省エネ、再エネ、海洋技術、水処理技術の最新動向

カーボンニュートラルの目標達成へ取り組むべきことは何か。多角的テーマで全35プログラムを開催。延べ4,128名が聴講

グリーン・トランスフォーメーション（GX）や海洋に関する政策動向、再エネ導入に向けた省庁、企業の取り組み、さらには革新的な省エネ技術、再エネ導入事例、海洋ロボットの最新技術、浄水・排水のPFAS規制動向など、多岐にわたる講演が行われ、会場は熱心な聴講者に溢れ熱気に包まれました。

ENEX	エネルギーイノベーション総合展 基調講演	ENEX	ヒートポンプ・蓄熱システム活用セミナー ～家庭・業務部門のカーボンニュートラルにむけて～	InterAqua	人口減少時代を生きる一地域課題に水の観点から挑戦
	地中熱利用促進協会設立20周年記念 地中熱セミナー		スマートテレジエンスネットワークのDERに関する取り組みと目指す将来像		革新的海水淡水化への挑戦～液体金属技術と小型分散型装置が拓く水资源の未来～
	実機のエネルギーソリューションとして期待される フュージョンエネルギーの産業化への動き		風力発電、大量導入に向けた事業展開とそれを支える人材育成		センシング技術・DXで築く持続可能な水質・リスク管理
	地球を守る省エネ・GHG排出量削減：組織のエナマネ体制と連携創出のシナジー効果		海洋エネルギー・資源と我が国の戦略的立ち位置		浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略
	工場廃熱活用セミナー		「令和6年度新エネルギー大賞」受賞者講演		ロームが考える環境貢献と水资源の重要性
	非化石比率向上とエネルギー利用最適化を目指すカーボンニュートラル ～電気需要平準化・再エネ活用～		各地で進められる洋上風力の動向		未来のくらしと水の科学研究会 公開シンポジウム
	非化石比率向上とエネルギー利用最適化を目指すカーボンニュートラル ～新エネ活用～		地域脱炭素セミナー		サステナブル社会を創る水资源価値とCSV経営の新たな挑戦
	非化石比率向上とエネルギー利用最適化を目指すカーボンニュートラル ～ZEB・ZEH普及拡大～		ローカルVPPとデータサイエンスによるエネルギーパラダイム革新2 ～防災強化、脱炭素、AI、MBSE、次世代デバイス～		浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略
	工場・事業場における脱炭素セミナー		デジタルで捉える海とその課題、デジタルがつなぐ共創の輪		工場排水セミナー
	伝統設計が切り離くサイバーフィジカルシステムの未来： アグリゲーションと次世代スマートメーター		海洋新産業を実現するロボットと関連技術		次世代につなぐ官民の取り組み～新たな技術開発と余剰汚泥処理の取り組み
	省エネ・脱炭素支援セミナー		新しい海洋産業創出を目指して！		エネルギーイノベーション総合展 出展者プレゼンテーション
	みんなで創ろう！IoTスマートハウス		異業種連携（X-Industry）で挑む海のビジネスイノベーション		

11. Site Visit 先端技術見学会

脱炭素や省エネ、再エネ技術、エネルギー管理システムの最先端に触れる

SiteVisitを7施設で開催、91名が参加

脱炭素・エネルギーに関する最先端の研究開発や、地域・都市開発におけるエネルギー管理やシステム、ZEB/ZEH 等建築物の最新施設などの最前線を見学し、参加者の省エネ活動や再エネ導入、脱炭素化推進の取り組みに繋げてもらうことを目的に、「Site Visit（施設見学会）」を実施しました。

地域開発/企業連携

- 日本橋エネルギーセンター（日本橋室町三井タワー）
三井不動産株式会社
- 豊洲スマートエネルギーセンター
東京ガス株式会社

ZEB/先進新エネ技術

- 温故創新の森 NOVARE
清水建設株式会社
- 子安オフィス・リサーチパーク
千代田化工建設株式会社

ZEB

- 高砂熱学イノベーションセンター
高砂熱学工業株式会社

建築関連 ZEB/ZEH

先進的技術・製品

- エコルとごし
品川区立環境学習交流施設

- 次世代モビリティ・パワーソース研究センター
株式会社サステナブル・エンジン・リサーチセンター／千葉大学
- ※NEDO戦略的省エネルギー技術革新プログラム案件

エコルとごし



高砂熱学イノベーションセンター



温故創新の森 NOVARE



豊洲スマートエネルギーセンター



本施設は一般向けには見学受付を行っていない施設となります

12.主催者広報、来場誘致活動

本展示会では環境・エネルギー、海洋業界に向けた広報、来場誘致活動として、展示会データベースの活用をはじめ、メディア媒体への広告出稿など開催PRを行い、来場誘致に取り組みました。



主な広報、来場誘致活動

- 主催者メールマガジン(過去来場者約58,000件)
- 省エネルギーセンター賛助会員
- 月刊省エネルギー（主催者発行媒体）
- プレスリリース配信（PRTimes）
- Google広告（ディスプレイ・リストティング）
- 来場案内DM
- 業界専門メディア等への広告、記事掲載
電気新聞、ガスエネルギー新聞、熱産業新聞、
新エネルギー新聞、空調タイムス、スマートジャパン、
イプロス、エネルギーフォーラム、経済産業新報、
日本海事新聞、ウインドジャーナル、日本水道新聞社、
環境新聞、ITmedia、グローバルインフォメーション など
- 後援・協賛団体を通じた開催PR など

13.式典

受賞者の晴れ舞台

2024年度（令和6年度）省エネ大賞表彰式/令和6年度新エネ大賞表彰式

「省エネ大賞（主催：一般財団法人省エネルギーセンター）」は、わが国の産業、業務、運輸各部門における優れた省エネ取組みや、先進的で高効率な省エネ型製品などを表彰する制度です。先進的な省エネ活動、製品を表彰し、省エネ意識の拡大・浸透、省エネ製品の普及により、省エネ型社会の構築に寄与してきた歴史があります。2024年度（令和6年度）省エネ大賞表彰式は、開催初日の1月29日に東京ビッグサイトレセプションホールにて、同日には令和6年度新エネ大賞表彰式（主催：一般財団法人新エネルギー財団）が執り行われました。



14. 次回開催のご案内

会期：2026年1月28日（水）～30日（金）10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西・南ホール全館

*全13展示会を同時開催。エネルギーイノベーション総合展の開催ホールは決定次第、公式ウェブサイトでお知らせいたします。

構成展示会



第50回地球環境とエネルギーの調和展

革新的な省エネルギー、
脱炭素技術の総合展



第20回再生可能エネルギー世界展示会＆フォーラム

持続可能な社会を目指す
再生可能エネルギー展



海洋産業技術展 2026

海洋資源の利活用に
に関する海洋産業技術展



海洋産業技術展 2026

持続可能な企業活動を
支える水ビジネスの展示会

これまで開催してまいりました DER・Microgrid Japan については、出展・来場対象を ENEX に統合する形での開催に変更とさせていただきます。

出展料（消費税10%含む）

出展種別	一般	独法・公的機関 協会・団体	大学・研究室	省エネルギーセンター 賛助会員	パッケージ付き 4m ² ブース
仕様	1小間 (3m×3m=9m ² 、スペース追込)	1小間 (3m×3m=9m ² 、スペース追込)	1小間 (3m×3m=9m ² 、スペース追込)	1小間 (3m×3m=9m ² 、スペース追込)	1小間 (2m×2m=4m ² 、5ヶージブース)
● ENEX地球環境とエネルギーの調和展	¥418,000	¥319,000	¥209,000	¥319,000	
● 再生可能エネルギー世界展示会＆ フォーラム	¥418,000	¥319,000	¥209,000		¥297,000
● Offshore Tech Japan 海洋産業技術展	¥418,000	¥319,000	¥209,000		
● InterAqua 水ソリューション総合展	¥418,000	¥319,000	¥209,000		

注1) 金額は全て税込価格です

注2) 再生可能エネルギー世界展示会のパッケージ付き4m²ブースは1社最大2小間まで。9m²タイプのブースとの併用はできません。

注3) 出展料には以下が含まれています。

出展スペース(小間-9m² (間口3m×奥行3m)、製品情報(資料・画像・動画)掲載、掲載した資料・動画の閲覧者データの取得、来場案内(招待状)

注4) 隣接する小間がある場合は、事務局側で仕切りパネル(高さ2.7m)を設置します。但し、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。

注5) 装飾・電気・通信回線等の工事費および使用料は付帯しておりません。

出展申込方法

出展申込は各展示会公式ウェブサイトの出展申込フォームよりお申込みください。

・主催者が出展申込を受領した時点をもって、出展の契約が成立となります。

・仮申込をした場合、2025年8月1日（金）以降本申込への自動切替となります。

① 申込締切日 2025年9月30日（火）

※但し、締切前でも予定の小間数になり次第締め切りますので、お早めにお申込みください。

② 出展料のお支払い 出展本申込後、請求書を発行いたします。

※請求書記載の指定日までにご出展料を指定口座へお振込みください。

③ 出展申込の取消 出展本申込後の取消は原則として出来ません。

但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、

出展規約の基準で解約料を申し受けます。

2025年7月31日(木)までは、仮申込制度(仮申込の場合の有効期限内の出展解約料は発生いたしません)を設けております。ENEX / Offshore Tech Japan の出展小間位置は、小間数およびお申込み順に出展者ご自身に選択いただきます。再生可能エネルギー世界展示会の出展小間位置は、出展申込締切後に主催者が決定いたします。

15.後援、協賛

ENEX 2025
第49回地球環境とエネルギーの調和展

■後援

経済産業省/文部科学省/国土交通省/環境省/東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/川崎市/さいたま市/千葉市/国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構/独立行政法人中小企業基盤整備機構/独立行政法人日本貿易振興機構/一般財団法人新エネルギー財団/東京商工会議所/株式会社TBSテレビ/株式会社フジテレビジョン/株式会社日刊工業新聞社/株式会社日本経済新聞社/株式会社毎日新聞社(順不同)

■協賛

板硝子協会/ウレタンフォーム工業会/一般社団法人ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会/一般財団法人家電製品協会/硝子繊維協会/一般財団法人コージエネレーション・エネルギー高度利用センター/一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会/石油連盟/一般社団法人セメント協会/一般社団法人全国スーパーマーケット協会/一般社団法人ソーラーシステム振興協会/一般財団法人地球産業文化研究所/電気事業連合会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人日本エレクトロヒートセンター/一般社団法人日本ガス協会/一般社団法人日本ガス石油機器工業会/一般社団法人日本機械工業連合会/一般社団法人日本工業炉協会/一般社団法人日本サッシ協会/一般社団法人日本自動車工業会/一般財団法人日本自動車連盟/一般社団法人日本消費者協会/一般社団法人日本照明工業会/公益財団法人日本生産性本部/公益社団法人日本セラミックス協会/日本暖房機器工業会/日本チーンストア協会/一般社団法人日本鉄鋼連盟/一般社団法人日本電機工業会/一般社団法人日本内燃力発電設備協会/一般社団法人日本熱供給事業協会/一般社団法人日本バルブ工業会/一般社団法人日本ビルエネルギー総合管理技術協会/一般社団法人日本ファインセラミックス協会/一般社団法人日本分析機器工業会/一般社団法人日本ボイラ協会/一般社団法人日本陸用内燃機関協会/公益社団法人日本冷凍空調学会/一般社団法人日本冷凍空調工業会/一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会/一般社団法人日本ロボット工業会/一般社団法人ニューオフィス推進協会/一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター/一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会/一般社団法人ビルディング・オートメーション協会/ロックワール工業会(50音順)



■後援

経済産業省/環境省(順不同)

■協賛

電気事業連合会/一般社団法人日本電機工業会/石油連盟/一般社団法人日本ガス協会/一般社団法人日本鉄鋼連盟/一般社団法人日本建設業連合会/一般社団法人電子情報技術産業協会/一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会/一般社団法人日本水道工業団体連合会/一般社団法人水素供給利用技術協会/一般社団法人水素エネルギー協会/一般社団法人燃料電池開発情報センター/燃料電池実用化推進協議会/一般財団法人エンジニアリング協会/国立研究開発法人国立環境研究所/国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所/国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾航空技術研究所/国立研究開発法人国際農林水産業研究センター/国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構/国立研究開発法人森林研究・整備機構・森林総合研究所/国立研究開発法人人物質・材料研究機構/独立行政法人工エネルギー・金属鉱物資源機構/公益社団法人日本船舶海洋工学会/公益財団法人日本科学技術振興財団/公益社団法人日本地下水学会/一般社団法人日本半導体製造装置協会/一般財団法人日本自動車研究所/世界省エネルギー等ビジネス推進協議会/公益財団法人地球環境産業技術研究機構/一般財团法人工エネルギー・経済研究所/一般財団法人電力中央研究所/一般財団法人省エネルギーセンター/一般社団法人日本風力発電協会/一般財团法人ヒートポンプ・蓄熱センター/一般社団法人日本熱供給事業協会/一般社団法人日本エネルギー学会/一般社団法人工エネルギー・資源学会/一般財団法人日本気象協会/一般社団法人ソーラーシステム振興協会/一般社団法人住宅生産団体連合会/一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会/一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター/日本地熱学会/日本地熱協会/特定非営利活動法人地中熱利用促進協会/一般社団法人ターボ機械協会/水力アカデミー/一般社団法人日本水流体力学会/一般社団法人日本冷凍空調工業会/公益社団法人日本冷凍空調学会/日本ヒートアイランド学会/太陽光発電技術研究組合/有機系太陽電池技術研究組合/一般社団法人日本分散型風力発電協会/一般社団法人日本風工学会/風力発電推進市町村全国協議会/一般社団法人アルコール協会/一般社団法人日本有機資源協会/日本LCA学会/一般社団法人日本電設工業協会/一般社団法人海洋エネルギー資源利用推進機構/一般社団法人日本太陽エネルギー学会/一般社団法人日本風力エネルギー学会(順不同)

16.後援、協賛



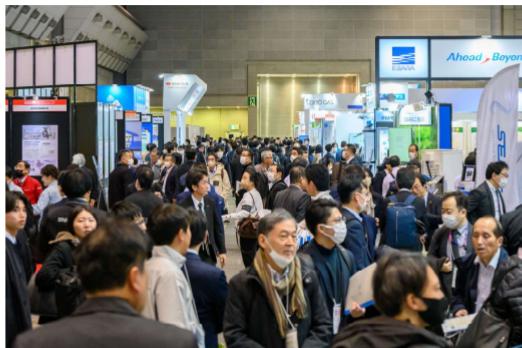
■後援

内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省/横浜市/海洋都市横浜うみ協議会/スコットランド国際開発庁/国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所/国立研究開発法人海洋研究開発機構/独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構/公益社団法人工木学会海洋開発委員会/公益社団法人日本港湾協会/公益社団法人日本船舶海洋工学会/公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会/一般財団法人エンジニアリング協会/一般財団法人マリンオープンイノベーション機構/一般社団法人海洋エネルギー資源利用推進機構/一般社団法人海洋産業研究・振興協会/一般社団法人次世代センサ協議会/一般社団法人センサイト協議会/一般社団法人電子情報通信学会水中無線技術特別研究専門委員会(UWT研究会)/一般社団法人日本埋立浚渫協会/一般社団法人日本計量機器工業連合会/一般社団法人日本水中ドローン協会/一般社団法人日本船用工業会/一般社団法人日本プロジェクト産業協議会/特定非営利活動法人海洋音響学会/特定非営利活動法人長崎海洋産業クラスター形成推進協議会/海洋調査技術学会/海洋理工学会/日仏海洋学会/日本海洋学会

InterAqua 2025

■後援

安全工学会/公益社団法人雨水貯留浸透技術協会/関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム(TeamE-Kansai)/下水道グローバルセンター(GCUS)/一般社団法人産業環境管理協会/一般財団法人新エネルギー財団/公益社団法人新化学技術推進協会/公益財団法人水道技術研究センター/公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会/公益社団法人全国ビルメンテナンス協会/一般社団法人電子情報技術産業協会/日本液体清澄化技術工業会/一般社団法人日本エネルギー学会/日本化学繊維協会/一般社団法人日本機械工業連合会/公益社団法人日本下水道協会/公益社団法人日本材料学会/一般社団法人日本産業機械工業会/一般社団法人日本鉄鋼協会/膜分離技術振興協会(五十音順)



展示会に関するお問合せ先

ENEX/再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム/Offshore Tech Japan

● ENEX/Offshore Tech Japan展示会事務局

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

TEL : 03-5657-0762 Email : low-cf@jtbcom.co.jp

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

● 再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム事務局

株式会社シー・エヌ・ティ

TEL : 03-5297-8855 E-mail: info@renewableenergy.jp

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 4F

公式ウェブサイト



<https://www.low-cf.jp/>

InterAqua

● InterAqua展示会事務局

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

TEL : 03-5657-0757 Email : interaqua@jtbcom.co.jp

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング

公式ウェブサイト



<https://www.interaqua.jp/>